

クラウドシアホールディングス (コード 3607)

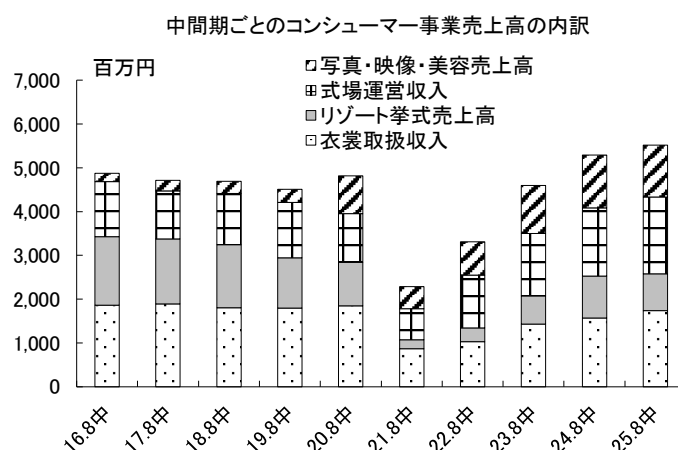
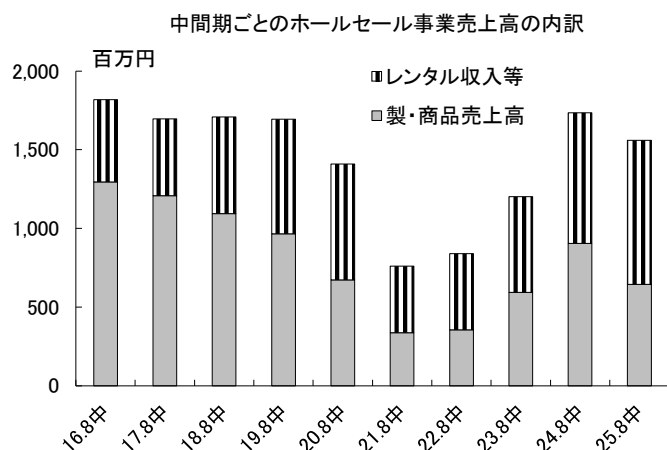
◆各決算期の中間期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.8	4,149	▲245	8.0	0.0	199	▲18	▲616	4,355
23.8	5,799	534	59.6	2.0	666	▲132	▲610	4,367
24.8	7,027	695	71.0	3.0	710	▲476	1,013	3,317
24.8	7,078	370	37.5	5.0	518	▲421	▲62	1,711

◆通期業績推移(連結) (25.8 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.8	9,507	104	93.2	3.0	989	▲133	▲1,234	4,455
23.8	11,521	553	63.2	7.0	761	▲409	▲2,731	2,077
24.8	13,219	341	21.5	10.0	526	▲979	36	1,685
25.8予	14,000	450	38.9	10.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



25年8月期の中間期業績概況…25年8月期の中間期(24年9月～25年2月)は、既存事業の業績回復に一服感があった一方、前期に実施したM&Aによる売上寄与により、全体の売上高は前年同期に比べ約1%増となったが、人件費などの増加などから、営業利益は約47%減となった。ただ、中間期ベースでは、売上高、営業利益とも、コロナ禍前の水準(20年8月期の中間期: 売上高62億2,500万円、営業利益2億2,400万円)は引き続き上回っている。

当期の業績は、売上高70億7,800万円(前年同期比0.7%増)、営業利益3億7,000万円(同46.7%減)、経常利益3億8,000万円(同45.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益3億3,600万円(同46.9%減)となった。

事業部門別売上高は、ホールセール事業部門15億6,100万円(同10.0%減)、コンシューマー事業部門55億1,700万円(同4.3%増)となった。ホールセール事業部門のうち、製・商品売上高が6億4,500万円(同28.7%減)、レンタル収入等が9億1,500万円(同10.4%増)。また、コンシューマー事業部門のうち、衣装取扱収入が17億3,600万円(同10.6%増)、リゾート挙式売上高が8億4,100万円(同12.1%減)、式場運営収入が17億5,400万円(同12.4%増)、写真・映像・美容等売上高が11億8,500万円(同1.5%減)となった。

ホールセール事業部門において、製・商品の受注高は8億1,400万円(同1.9%減)に減少し

たが、第1四半期（24年9～11月）は同0.3%増となったのに対し、第2四半期（24年12月～25年2月）に同4.1%減となったことが影響。受注残高は5億5,900万円（前年同期末比16.9%減）となったものの、前期第4四半期（24年6～8月）を底に、徐々に回復傾向に。コンシューマー事業部門において、式場運営収入では、直営式場の受注組数が480組（前年同期比82組増）、施行組数が464組（同17組増）、受注残組数も637組（同103組増）にそれぞれ増加した。

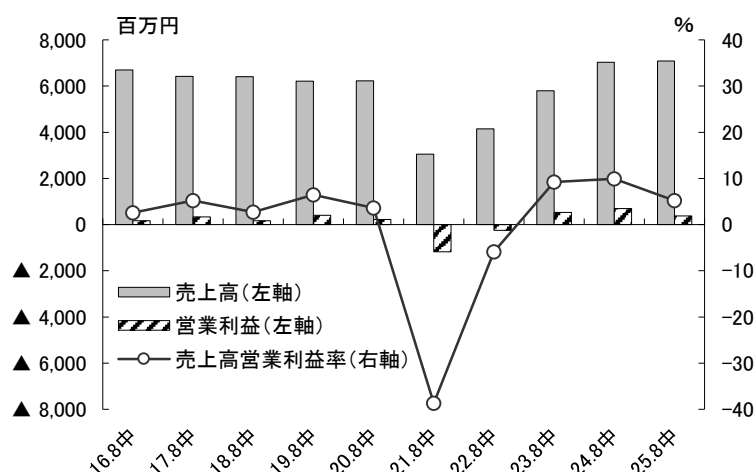
利益面では、売上原価率が22.6%（前年同期は21.8%）に、売上高販管費比率も72.2%（前年同期は68.3%）にそれぞれ上昇したことから、営業利益は大きく減少。売上高営業利益率も5.2%（前年同期は9.9%）に低下したが、前年同期に引き続き、コロナ禍前の20年8月期中間期の水準（3.6%）は上回っている。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況について、当中間期末の現金及び現金同等物残高は17億1,100万円（前年同期末比48.4%減）となった。営業活動によるCFは、税金等調整前中間純利益3億8,400万円（前年同期比49.3%減）、売上債権の減少額1億500万円（前年同期は増加額7,100万円）などにより、5億1,800万円の収入（前年同期比27.0%減）になった。投資活動によるCFは、有形固定資産の取得による支出4億4,000万円（同71.9%増）のほか、前年同期にあった子会社株式の取得による支出2億4,600万円が当期は無かったことなどにより、4億2,100万円の支出（同11.6%減）になった。財務活動によるCFは、長短借入金の借入れ及び返済による収入300万円（同99.7%減）、配当金の支払額6,000万円（同39.5%増）などにより、6,200万円の支出（前年同期は10億1,300万円の収入になった）。

25年8月期の通期業績見通し…25年8月期の業績については、売上高140億円（前期比5.9%増）、営業利益4億5,000万円（同31.7%増）、経常利益4億3,000万円（同10.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3億5,000万円（同81.8%増）の見通しで、24年10月1日付けの会社側発表値から変更は無い。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。

中間期ごとの業績推移



中間期のキャッシュ・フロー(CF)推移

